

稲生川ウォーキングマップ。人と自然が共に創る郷土を歩こう。

0000 目指せ一日一万歩！自然の中で心身の健康づくり。楽しみながら地域交流。歩いて周る市内観光もお勧めです。



Towada City Wide Area Map 十和田市周辺広域地図

人工河川・稲生川の開削と三本木原(現十和田市域)の開拓
幕末に行われた三本木原開拓は、十和田市をはじめ2市4町に命の水運び、荒涼とした三本木原を青森県内有数の穀倉地帯に変えました。十和田市は農畜産業を基幹産業に発展し、現在、県内第3位の水田面積、国内でも高い食料自給率を誇っています。十和田市の緑豊かな田園風景はそうした歴史を秘めています。



■鉄道(JR東北新幹線)でのアクセス
東京 → 七戸十和田駅 → 十和田市内 約4時間
仙台 → 七戸十和田駅 → 十和田市内 約2時間30分
盛岡 → 七戸十和田駅 → 十和田市内 約1時間30分
青森 → 七戸十和田駅 → 十和田市内 約45分

■飛行機(JAL)でのアクセス
羽田 東京 → 三沢空港 → 十和田市内 約2時間
伊丹 大阪 → 三沢空港 → 十和田市内 約2時間30分
約80分 (車/レンタカー)
約40分 (車/レンタカー)

未来遺産登録
100年後の子どもたちに長い歴史と伝統のもとで豊かに培われてきた地域の文化・自然遺産を伝えるための運動。公益社団法人日本ユネスコ協会連盟が推進。

「太素の水」プロジェクトとは「稲生川開削と三本木原開拓の志を活かし、共創郷土の伝統を未来に」という共通の志を持ち、地域のかけがえのない遺産を自分たちの手で守り、活かし、未来に引き継ごうという未来志向のプロジェクト。



ウォーキングの注意点

- ①準備運動をきちんとしよう
- ②こまめに水分補給をしよう
- ③炎天下は避けよう
- ④体調に合わせて行おう
- ⑤吸汗性、速乾性にすぐれた素材のものを着用しよう
- ⑥病気・疾患を持っている方は、主治医に相談してから行おう

*十和田地域でウォーキングを楽しむ時期は4月から11月です。人の手で引かれた用水路と浴線に広がる田園風景、見事な桜並木に心がなごみます。

「太素の水」プロジェクトの主な活動団体

- 一本木沢ビオトープ協議会は、ため池を活用したビオトープで、水辺の多様な生物の生息環境の保全と「自然・教育」に関する活動を地域とともに展開しています。

未来へ受け継ぎたい地域の遺産
江戸時代末期、新渡戸三代(稲造の祖父傳・父十次郎・兄七郎)と、「公」に尽くす志で結ばれた先人たちは、不毛と呼ばれた三本木原台地に奥入瀬川の水を引くという壮大な計画を立て、1855年に着手。綿密な測量により山々に穴堰を掘りぬく難工事の末、ついに4年後、トンネル2か所約4kmを含む約11kmの水路建設に成功。開拓の初穂に因み十次郎の三男は「稲造」と名づけられた。1860年十次郎は上水を活用し、京都を模して基盤の目状の都市計画を行った。これは近代都市計画のルーツと称され、現在もその様相が残る。太素(傳の号)の志を継ぐ人々の手により今も命の水・稲生川は流れる。未来に引き継ぎたい遺産だ。



●Kyosokyodo共創郷土は、稲生川開削と三本木原開拓の志を活かす地域づくりを推進し、新渡戸記念館と教育委員会共催の人づくり・地域づくり塾のサポートなどの活動を行っています。

「太素の水」プロジェクトは「太素の水」保全と活用連合協議会により運営され、稲生川の自然歴史、文化を守り活かす活動を通じた持続的な地域づくりが評価されて、平成23年に日本ユネスコのプロジェクト未来遺産に登録されました。

●稲生川せせらぎ活動委員会は、稲生川の遊休地を利用して整備されたせせらぎ水路と稲生川ふれあい公園において、「親水」と「交流」を目指し、環境美化などの活動を行っています。

稲生川ウォーキングマップ

川の流れとともに
5つのコースをご提案

コース① 19.4km ② 7.7km ③ 6.4km ④ 4.3km ⑤ 1.4km

1. 稲生川頭首工(取水口)

奥入瀬川からの取水口。暮末に原型がつくれ、当時は大石をいくつか置き導水する構造であったが、現在は長さ52mの「固定せき」でせき止め、取水している。

2. 中里隧道

新渡戸十次郎の第二次上水計画を受け継いだもの。国営事業で昭和40年(1965)竣工。長さ約1.6km。太平洋までの水量確保のため、中里隧道ほか国営水路を稲生川に合流。

3. 熊ノ沢水路橋

国営水路が熊ノ沢川を横断する水路橋。国営水路は稲生川より12m高く水路橋で熊ノ沢川の上を流れ、稲生川はサイフォンで熊ノ沢川の下を流れる。

4. 熊ノ沢サイフォン

江戸時代は稲生川を熊ノ沢川に合流させ、対岸の水門から再び取水していたが明治以降には水路橋で川の上を通し、昭和12年(1937)の国営事業でサイフォンに。

5. 巫女塚

イタコの塚があったため「巫女塚」と呼ばれる。山の斜面に盛り上げる「片堤」の工法で築き、高さ5mの石垣の上を稲生川が流れる。急カーブで蛇行するため何度も決壊し、「崩れ土手」の異名もあった。

稲生川

農水省認定「治水百選」

【風水】灌漑(かんがい)・給水・発電などのため、土地を切り開いてつくった水路。



3. 稲生川せせらぎ満喫コース

稲生川せせらぎ水路(稲生川幹線沿い) 水車小屋

4. まちなか歴史コース

稲生川せせらぎ水路(国道102号沿い) 桜の広場

5. ビオトープコース

稲生川せせらぎ水路(国道102号沿い) 桜の広場



ウォーキングイベントでは特別に水路橋を歩き見学できます。

深持

供養観音

2. 先人の技術みどころコース



1. 法量農村公園

つり橋からサイフォンやトンネル入口など川の構造が見える。江戸時代の測量具(勾配器など)や掘削具(ぼんづるなど)のレリーフがあり、当時の技術も学べる。



2. 天狗山トンネル

一番の難所のトンネル(穴堰)の出口。横穴工法によって手掘りで900間(約1.6km)を約8ヶ月で掘り、安政4年(1857)5月完成。(改修後長さ1.39kmに)



3. 道の駅「奥入瀬・奥入瀬ろまんパーク」

物産館のほか十和田牛ステーキレストラン、地ビールレストラン、地元産生乳のソフトクリームが人気の手づくり工房、親水公園やユニファーマーガーデンもある。隣接する大堰公園には樹齢100年以上、幹周4mのユリの木もある。



4. 幻の穴堰

十次郎の第二次上水計画で慶応2年(1866)に掘削。3つのトンネルを通して稲生川に合流する水路を計画し、562間(約1km)掘ったが翌年十次郎の急逝で未完に。※現在幻の穴堰内は閉鎖中



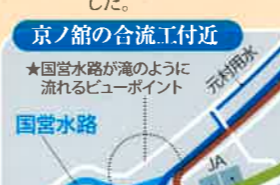
5. 鞍出山トンネル

最初に着手された工区。横穴工法で1400間(約2.5km)を約7ヶ月で掘り、安政3年(1856)4月に貫通。蛇行が多く、後の改修で1.69kmに。手作業の掘削痕を内部に一部保存。



6. 山神の碑/金比羅山の碑

安政3年(1856)工事の安全を祈って土木技術者たちが建てた碑。吉助はじめ技術者17名の名が刻まれる。右隣の金比羅山の碑も安全祈願のため慶応3年(1867)建立。ともに市指定文化財。



7. 京ノ館の合流工付近

★国営水路が滝のように流れるビューポイント

★千歳森稲荷大明神 創建年代不明。古くから地域の信仰を集め、三本木原開拓で新町へ遷宮され三本木稲荷神社が創建された。
★大清水大明神 創建年代不明。古くから湧き水があり三本木の地名の由来の3本に分かれたシロタモの太木があり、旅人の目印になったという。
★八郷の松並木 幕末の三本木原開拓で街道の防風雪のため並木が設定され、その後軍馬補充部も補植、現在の松並木が形成された。

8. 名所・旧跡おすすめスポット

★法量発電所 東北電力株式会社所有。昭和30年(1955)築。
★法量神社 宝永5年(1708)6月創建。明治6年(1873)、奥瀬村新羅神社に合祀されたが、明治8年(1875)に復祠。昭和11年(1936)に村社に昇格。
★千歳森稲荷大明神 創建年代不明。古くから地域の信仰を集め、三本木原開拓で新町へ遷宮され三本木稲荷神社が創建された。
★大清水大明神 創建年代不明。古くから湧き水があり三本木の地名の由来の3本に分かれたシロタモの太木があり、旅人の目印になったという。
★八郷の松並木 幕末の三本木原開拓で街道の防風雪のため並木が設定され、その後軍馬補充部も補植、現在の松並木が形成された。

9. 稲生川ふれあい公園

稲生川の遊休地を活用した総延長約3.6kmの親水公園。せせらぎ水路と遊歩道があり、沿線町内会の稲生川せせらぎ活動委員会が環境美化を行う。地元で人気の散歩コース。

10. 一本木沢ビオトープ

明治時代の稲生川工事で盛り土を取った穴が農業用溜池となり、それを活用してビオトープとして整備した。様々な野鳥やホタルも観察され、今も生物多様性が守られている。

11. 太素塚

太素塚は新渡戸傳が慶応2年(1866)自ら建立した墓。明治4年(1871)埋葬され、現在は長男・十次郎、孫・稲造の分葬墓が並ぶ。敷地内の新渡戸記念館では市の礎である三本木原開拓の歴史や国際人・新渡戸稲造博士の業績を豊富な実資料から学ぶことができる。

12. 開拓の街のおすすめスポット

★稲生町◎三本木原開拓の新町。新渡戸十次郎の都市計画により、奥州街道(旧国道4号)両側には榎ぶき二階建てこみせづくりの町屋が並び美しい景観を誇った。

★官庁街通り(駒街道)◎日本の道百選の一つ。昭和20年(1945)の終戦まで60年間軍馬補充部三本木支部があり、後に愛称・駒街道で知られる官庁街に。長さ1.1km幅36m。緑の松とピンクの桜の二重の並木は見事。

★澄月寺◎曹洞宗盛岡市報恩寺の末寺。開拓の都市計画に基づき慶応元年(1865)建立。開山は新渡戸傳。住職の心月和尚と傳が懇意で、寺名は傳の諱「常澄」と住職の名から命名。



13. 自然観察小屋前の橋からスタートして遊歩道を歩いて橋に戻るコース

自然観察小屋前の橋からスタートして遊歩道を歩いて橋に戻るコース

★法量農村公園 | 奥入瀬ろまんパーク | 稲生川ふれあい公園 | 桜の広場 | 中央公園 | アート広場・十和田市現代美術館
★三本木稲荷神社 | 太素塚・十和田市立新渡戸記念館 | 三木野公園 | 前谷地公園 | 一本木沢ビオトープ



14. 自然観察小屋前の橋からスタートして遊歩道を歩いて橋に戻るコース

自然観察小屋前の橋からスタートして遊歩道を歩いて橋に戻るコース

★法量農村公園 | 奥入瀬ろまんパーク | 稲生川ふれあい公園 | 桜の広場 | 中央公園 | アート広場・十和田市現代美術館
★三本木稲荷神社 | 太素塚・十和田市立新渡戸記念館 | 三木野公園 | 前谷地公園 | 一本木沢ビオトープ